

AJA リテールインストーラー

リリースノート- Mac v12.2.1 for AJA KONA, Io and T-TAP Drivers

重要な記載事項 - 必ずお読みください

このドライババージョンは、Mac OS 10.9.5 (Mavericks) および 10.10 (Yosemite)と互換性があります。初めてAJA製品を使う場合は、Read Me First書類およびユーザマニュアルを必ず確認してください。

ソフトウェア

このインストーラーは下記のソフトウェアバージョンと互換性があります。

Adobe

- ・ Premiere Pro - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ After Effects - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ Photoshop - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ Prelude - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ SpeedGrade - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ Audition - CC, CC 2014, CC 2015

Avid

- ・ Media Composer - 8.0, 8.1, 8.2, 8.3, 8.4

Apple

- ・ FCP X - 10.1.4

Telestream

- ・ Wirecast - 5.x, 6.x

修正点

- ・ メモリーの問題を原因としたキャプチャーや出力のドロップアウトを修正
- ・ AJA Control PanelでVANCを有効にした際にビデオ出力が下側にシフトする問題を修正
- ・ FCP 7とMedia Composerで再生中に無効なフレームが表示される問題を修正

- ・ AJA Control Panelでアナログオーディオのモニターレベルを変更しても正しく表示が変更されない問題を修正
- ・ AJA Control Roomで再生中にLTCが出力されない問題を修正
- ・ lo 4KのAJA Control PanelがUFC bitfileのframebufferを1080i から1080p 59.94に変更した際にクラッシュする問題を修正
- ・ lo 4KでLUTの適用と4Kダウンコンバートが同時に発生した場合に、HDMI出力が画面全体をダウンコンバートした映像ではなく、4分割された4Kの4番目の映像だけを表示してしまう問題を修正
- ・ lo 4KとKONA 4でHDMI出力にLUTが適用されない問題を修正
- ・ lo 4KとKONA 4でUFC bitfileのframebufferが適合できないことが原因で出力が不正になる問題を修正
- ・ KONA 3GでAvid Media Composerの4K/UHDのプロジェクトにおいてdraft modeを使用した時の問題を解決

このリリースでサポートされる製品

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・ KONA 4 | ・ lo 4K |
| ・ KONA 3G | ・ lo XT |
| ・ KONA LHi | ・ lo Express |
| ・ KONA LHe Plus | ・ T-TAP |

既知の問題

ALL

- ・ KONAやIoのデバイスを使用時、システムのスリープはすべきではありません。オペレーティングシステムの設定でスリープを無効にする必要があります。

Adobe Plug-Ins

- ・ シーケンスとハードウェアのフレームレート設定が異なると、適切なオーディオ出力が得られない場合があります。
 - ・ 720p50/59.94/60以外の720pフォーマットで発生する可能性があります。
 - ・ この制限を回避するには、Premiere Proの再生設定で、AJAビデオデバイスを「Match Control Panel」に設定します。その後、AJAコントロールパネルを使い、出力に対して1080フォーマットへのクロスコンバージョンを設定します。例えば、720p23.98プロジェクトを使用する場合は、SDI出力を選択して1080PsF23.98フォーマットを選択し設定します。
- ・ Premiere Proの再生環境設定におけるビデオデバイスに対する遅延制御は機能しません。
- ・ クラッシュキャプチャーにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャーすることは出来ません。RS-422 タイムコードに変えてエンベデッドタイムコードを使用する事を推奨します。
- ・ VFRにプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・ HD-SDI経由のクラッシュキャプチャーおよびプリントにおいてVaricamフレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャーやバッチキャプチャーは行えません。
- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目202"ID SEL"が“OTHER"に設定されていることを確認してください。
- ・ デッキ制御において3秒以下のプリロールは推奨しません。
- ・ Premiere Pro のモニタ設定のデフォルトは”最初のフィールド”となっています。インターレースを正しく表示するには”両方のフィールド”を選択してください。
- ・ Premiere Proのキャプチャーウィンドウを開いた状態で、デッキのテープがDFからNDFに変更された場合、DF/NDFステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Proのキャプチャーウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
 - ・ 同じキャプチャーセッション中にDFとNDFのテープ混在がなければ、この問題はユーザーに影響しません。
 - ・ 対処方法：テープチェンジ時に表示されるダイアログにてテープ名を与え、OKをクリックする前に新しいテープをスプールしてください。
 - ・ 回避方法：キャプチャーウィンドウを一度閉じて、再度開きます。
- ・ Panasonic D5デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソース設定をLTC+VITCにしなければなりません。

Avid Open I/O Plug-ins

- ・ AJAデバイスを”オーディオ パンチインツール”で使用するためには、”キャプチャーツール”でAJAデバイスを選択している必要があります。
 1. キャプチャーツールを開く
 2. AJA KONA あるいは AJA Ioなどのビデオ入力を選択
 3. キャプチャーツールを閉じる
 4. オーディオ パンチインツールを開く
 5. AJA KONA あるいは AJA Ioなどの入力デバイスを選択
- ・ Open I/O Plug-insがインストールされているタイムラインの不特定なループは、Avidアプリケーションの再生停止や、エラーメッセージの原因となる可能性があります。
- ・ KONA 3, KONA 3G, Io XTでデュアルリンクRGBソースをキャプチャーする場合、E/EされるデュアルSDI出力は正しくない可能性があります。
- ・ AJAハードウェアはコントロールパネルを使用してゲンロックを'Input'と'Reference'で切り換えることができますが、Media Composerでキャプチャーを行う場合、この選択によってバッチキャプチャーが正しく行えない場合があります。この問題を回避するにはゲンロックを”Input”に設定します。
- ・ アナログビデオ入力はMedia Composerのキャプチャーツールに正しく検出されない場合があります。この問題はMedia Composerの起動時にソースビデオを再生しておくことで回避できます。